

令和6年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

生徒の個性を伸ばし、豊かな人間性を育み、志を持って不確実な時代を切り拓く力を育てる学校

～ 「茨西 PRIDE」のもと、茨西につながるすべての人が「TEAM 茨西」として、生徒それぞれの「志をカタチに」する ～

【生徒に育みたい力】

◇ 確かな学力を基に、高い志を持ち、グローバル社会を生きる力

◇ 生徒が自己肯定感を持ち、社会人として自律できる力

◇ 自分の周りの人、地域、世界とつながる力

【教職員に求める力】

◇ 同僚性を高めチームとして互いに協調し、真摯に生徒に向き合う力



2 中期的目標

1. 「確かな学力」の育成

(1) 生徒の学習支援の強化

ア 授業規律の一層の徹底

イ 学習支援体制の構築と電子黒板の有効利用

ウ 生徒一人一台の学習端末の効果的な活用

(2) グローバル人材の育成

ア 英語4技能習得にむけた教科の枠を超えた教育活動の推進

(3) 「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力・人間性等」を育むための授業力向上

ア 授業評価のPDCA サイクルによる授業改善と教員相互が切磋琢磨できる校内環境づくり

イ 主体的・対話的で深い学び及び能動的授業の推進

※ 学校教育自己診断（保護者版）、授業のわかりやすさに係る肯定回答率、令和8年度 70%以上をめざす。(R3：64%・R4：56%・R5：60%)

※ 学校教育自己診断（教職員版）、「主体的・対話的で深い学び」に取組む教職員の割合、令和8年度 95%以上をめざす。

(「生徒の能動的な学習への参加を取り入れた教授・学習法を行っている」R3：89%・R4：94%・R5：89%)

2. 志高く「社会を切り拓く力」の育成 ▶「志をカタチに」

(1) 生徒の将来を見据えたキャリアサポート

ア 全方位の基礎学力調査による、早期の生徒・保護者の進路意識の醸成

イ 卒業生による分野別説明会等の実施によるキャリア意識の涵養

※ 第3学年4月の進路希望調査の実現率、令和8年度 90%以上を維持する。(R3：80%・R4：90%・R5：90%)

3. 自己肯定感を持ち、社会人として「自律する力」を育む ▶「茨西 PRIDE」の涵養

(1) 自律を促す教育活動の展開

ア 基本的生活習慣の確立と規範意識の向上

※ 遅刻総数、令和8年度 2,200 人以下をめざす。(R3：2,372 人・R4：3,118 人・R5：2176 人)

(2) 自己肯定感を育む「安全安心な学校づくり」

ア 人権道德教育委員会及を核として様々な人権課題に取り組み豊かな人権感覚を養うと共に、道德教育の推進を図る。

イ 教育相談委員会を核とした教育相談活動及び支援教育活動の活性化

ウ 交通安全教育や防災・防犯教育を通した危機管理能力の向上と共助に係わる意識の涵養

※ 生徒・保護者向け学校教育自己診断「命の大切さ・豊かな心・人権感覚の醸成」に係る質問の肯定回答率、令和8年度 90%以上をめざす。

(生徒・保護者の平均 R3：83%・R4：85%・R5：81%)

4. 自分の周りの人、地域、世界と「つながる力」の育成 ▶「TEAM 茨西」の形成

(1) HR 活動・生徒会活動・部活動や国際交流行事等を通して「つながる力」を育てる

ア HR 活動・生徒会活動及び部活動の活性化

イ グローバル社会を生きる力を育む国際交流事業等の維持及び推進

※ 部活動への1 年次当初の加入率、令和8年度 75%以上をめざす。(R3：71%・R4：70%・R5：61%)

※ 生徒の行事に係わる学校教育自己診断の肯定回答率、令和8年度 90%以上をめざす。(R3：82%・R4：88%・R5：85%)

(2) 中高連携の推進と地域連携等の強化

ア 中高連絡会・地域交流協議会等により地域連携を強化し、地域のボランティア活動を通じ社会貢献を推進する。

イ 卒業生・保護者・地域の教育に係る人材等を発掘し協力体制を構築する。

(3) 家庭との連携及びPTA 活動の活性化

ア 家庭連絡や意思疎通をきめ細かく行い、学校と家庭で連携した教育を推進する。

イ PTA 活動の一層の活性化

※ 保護者への連絡及び意思疎通の項目の肯定回答率、令和8年度 95%以上をめざす。(R3：95%・R4：91%・R5：91%)

5. 教職員の「生徒に向き合う力」の強化

(1) 教職員がチームで生徒と向き合う

ア 教職員の教育力を伸ばすための組織的な計画の策定による職員研修等の実施

イ 教職員の働き方改革を実現し、生徒と向き合うゆとりを確保する

※ 教職員向け学校教育自己診断の全項目について肯定回答率、令和8年度 90%以上をめざす。(R3：7/9項目、R4：6/10 項目 ・R5：3/10 項目)

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析〔令和6 年 12 月実施分〕	学校運営協議会からの意見
◆生徒アンケート結果より 【各項目について】 ① 学校に行くのが楽しい 83% ⇒ 84% ↗	◆令和6年度 第1 回学校運営協議会（記録概要） 日時：令和6 年5 月 29 日(水)（本校校長室） 1）学校長挨拶 2）協議会委員並びに事務局員の自己紹介 3）協議

② まじめな態度で授業を受けている 91% ⇒ 93% ↗ ③ 学校は生徒に配布している Chromebook を効果的に活用している 91% ⇒ 94% ↗ ④ 他の先生が授業見学にくることがある 62% ⇒ 72% ↗ ⑤ 学校生活についての先生の指導は納得できる 68% ⇒ 80% ↗ ⑥ 茨木西高校は進路についての情報を知らせてくれる 83% ⇒ 90% ↗ ⑦ 将来の進路や生き方について考える機会がある 85% ⇒ 93% ↗ ⑧ いじめについて私たちが困っていると真剣に対応してくれる 84% ⇒ 91% ↗ ⑨ 悩みなどがあるときに相談したいと思う先生がいる 53% ⇒ 78% ↗ ⑩ 命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある 82% ⇒ 93% ↗ ⑪ 「体育祭」は、楽しく行えるように工夫されている 84% ⇒ 85% ↗ ⑫ 「文化祭」は、楽しく行えるように工夫されている 85% ⇒ 87% ↗ ⑬ 「修学旅行」は楽しく行えるよう工夫されている 86% ⇒ 90% ↗ 【次年度に向けた課題等】 ・全項目で肯定的回答率が向上しているが、④・⑤については、さらなる改善の余地があると考えており、教員同士が切磋琢磨し、資質・能力の向上に働きかけられるような仕掛け（校内研修や他校との学校間交流）は、継続していく必要性があると感じている。 ◆保護者アンケート結果より 【各項目について】 ① 子どもは学校に行くのを楽しみにしている 77% ⇒ 79% ↗ ② 子どもは、授業がわかりやすいと言っている 60% ⇒ 66 % ↗ ③ 茨木西高校の生徒指導の方針に共感できる 77% ⇒ 84% ↗ ④ 茨木西高校は、将来の進路実現に向けた適切な指導をしている 77% ⇒ 83% ↗ ⑤ 茨木西高校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる 77% ⇒ 84% ↗ ⑥ 茨木西高校は、豊かな心や人権感覚を持ち、自分の生き方を考える生徒を育てようとしている 80% ⇒ 85% ↗ ⑦ 茨木西高校は、色々な手段（携帯メールなど）で家庭への連絡や意思疎通をきめ細かく行っている 91% ⇒ 93% ↗ ⑧ 授業見学や懇談会、進路説明会などの活動に参加したことがある 66% ⇒ 84% ↗ ⑨ 体育祭や文化祭などの学校行事に参加したことがある 59% ⇒ 72% ↗ ⑩ 学校１人１台端末を効果的に活用している 88% ⇒ 91% ↗ 【次年度に向けた課題等】 ・日頃から学校に対して、興味・関心の高い方からの回答のため、全体通して、肯定的な回答の割合が向上したと感じており、回収方法については、検討したい。 ◆教職員アンケート結果より 【各項目について】 ① 学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている 85% ⇒ 80% ↘ ② 教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている 80% ⇒ 80% → ③ この学校では、カウンセリングマインドを取り入れた生徒（生活）指導を行っている 85% ⇒ 88% ↗ ④ 生徒一人ひとりが興味・関心・適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている 87% ⇒ 88% ↗ ⑤ いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができている 91% ⇒ 96% ↗ ⑥ 教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる 89% ⇒ 96% ↗ ⑦ 学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている 89% ⇒ 88% ↘ ⑧ 教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている 98% ⇒ 100% ↗ ⑨ 生徒の能動的な学習への参加を取り入れた教授・学習法を行っている 89% ⇒ 92% ↗ ⑪ 学校は生徒に配布している Chromebook を効果的に活用している 95% ⇒ 100% ↗ 【次年度に向けた課題等】 ・多くの項目で改善が図れた一方で、教員の時間外勤務が増加。業務削減・見直しを一層進めていく必要がある。今年度実施した各分掌・委員会の業務改善シートを学期単位で実施することで、働き方改革を推進していく。			【令和６年度学校経営計画について】 （ご意見）教職員の超過勤務については、長期計画で対応していただきたい。 ⇒教育庁から指示に従って、超過勤務の削減に向けて取り組みたい。 （ご意見）SSW の利用について、ぜひすすめてほしい。 ⇒支援教育委員会を中心に、利用を促すような仕組みを企画中。 （ご意見）自習室の活用について、最近、子どもたちは、静かなところより、友達同士で勉強することが増えている。 ⇒利用しやすい環境づくりに向けて、リニューアルを検討したい。 （ご意見）自転車通学について、坂の下から飛び出す生徒がたくさんいて、スピードも出ていて怖い。 ⇒通学安全指導のほか、下校指導など日々の指導を強化したい。 ◆令和６年度 第２回学校運営協議会（記録概要） 日時：令和６年９月 20 日(金)（本校校長室） １）学校長挨拶 ２）近況報告 ３）協議 【授業見学等を振り返って】 （ご意見）生徒は大人しくなっている印象がした。 （ご意見）電子黒板を用いた授業の方法は、ほぼ完成域に達している。 （ご意見）中学同様、授業での振り返り学習が導入されている場面を拝見できて、良かった。 【令和６年度「学校経営計画」進捗状況について】 （質問）自習室及び質問コーナーの利用者数が減っているが。 ⇒自習室がうまく活用できていなかった。現在、自習室のレイアウトや利用方法の変更を行うなど、試験的に行っている。 （質問）通学時の事故はあるか。下校時の自転車のスピードが速く、怖い。かなりのスピードで追い抜かれることがある。小学生の下校時間と重なると危ない。 ⇒通学時の事故数は、現時点で把握しているものは５件。Safety bicycle 推進校に応募している。生徒自身に通学安全について考えさせたい。 【令和７年度「使用教科用図書」の決定について】 ・教育委員会会議にて、採択される予定の教科書見本を回覧した。 ◆令和６年度 第３回学校運営協議会 日時：令和７年２月 14 日(金)（本校校長室） １）学校長挨拶 ２）近況報告 ３）協議 【協議】 【令和６年度学校教育自己診断】結果報告について （ご意見）・全体的な回収率が昨年度と違うので、実施方法を再検討してほしい （ご意見）・生徒のアンケートにおいて自由記述の欄を設けることも検討してほしい 【令和６年度学校経営計画】結果報告 （質問）「つながる力」の目標に関して△が多いが概ね達成している。次年度変更してはどうか。 ⇒今年度の結果も踏まえ、目標設定を再検討する （質問）自転車の事故数が 12 件あるが。こういった事故が ⇒救急車に運ばれた事故もあり、気をつけなければならない。教員全体で注意喚起していく。 （質問）時間外勤務が 80 時間超える教員について、週末の部活動などは外部人材をうまく活用できているのか。 ⇒一部部活動で利用している。指導できる地域の方も限られているので、うまく利用をしていきたい。 （質問）いじめ・いじりに関しての境界が難しい。そういったことにどう対応しているか。 ⇒毎学期とっているアンケートをもとに常に生徒の様子を観察し、対応している。 （意見）・バイト禁止のルールは緩いので、検討してほしい ・SNS での生徒の活動内容の報告は保護者にとってとても楽しみの１つなので、このまま継続して続けてほしい ・「つながる力」の国際交流の部分において姉妹校提携は目標を達成しているので、△ではなく◎にすべき 【令和７年度学校経営計画】について 新規として、追記した内容について、説明。 （意見）・大学に進学することだけが重要ではないので、進路満足度を目標として設定していることはとても評価できる ・最終の決定は次年度の学校運営協議会だが、今回設定した目標で次年度の学校経営計画を作成してほしい。		
--	--	--	--	--	--

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的 目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R 5 年度値]	自己評価
1 確かな学力	(1) 生徒の学習支援 - 授業規律の徹底 - 学習支援体制の構築 - 外部模試の校内実施 - 自学自習の環境整備及び運用 (2) 英語教育の充実 - 英語運用能力の育成 (3) 授業の質の向上 - 教職員が切磋琢磨できる環境づくり 「主体的・対話的で深い学び」の推進 - ICT を活用した取組みの推進	(1) 生徒の学習支援 - 授業規律の徹底による学力保障 - 長期休業中の講習会による学習支援 - 外部模試による客観的な自己分析 - 自習室及び質問コーナーの活用推進 (2) 英語教育の充実 - 英語4 技能習得に向けた取組み (3) 授業の質の向上 - 相互授業見学の活性化による授業力の向上 「主体的・対話的で深い学び」の研修や授業見学の実施 1 人1 台端末を効果的に活用した授業展開	(1) 生徒の学習支援 - 授業規律を守る生徒割合 90%以上を維持[91%] - 長期休業中の講習会への参加人数のべ 100 名以上 [57 名] - 外部模試参加者数のべ 300 名以上 [300 名] - 自習室及び質問コーナーの利用数のべ 900 名 [889 名] (2) 英語教育の充実 - 英語スピーキング力測定ツールを全学年で年2 回実施 [2 回] (3) 授業の質の向上 - 学校教育自己診断(生徒)「他の先生が授業見学にくる」肯定回答率 70%以上 [62%] 「主体的・対話的で深い学び」に取り組む教職員の割合 90%以上 [89%] - 学校教育自己診断(生徒)「学校は生徒に配付しているタブレット端末を効果的に活用している」肯定回答率 90%以上 [新規]	(1) 生徒の学習支援 - 授業規律を守る生徒割合 93% (○) - 長期休業中の講習会への参加人数のべ 115 名 (○) - 外部模試参加者のべ 237 名 (△) - 自習室及び質問コーナーの利用者のべ 832 名。(△) (2) 英語教育の充実 - 第1 回9 月、第2 回 11 月実施 (○) (3) 授業の質の向上 - 学校教育自己診断(生徒)「他の先生が授業見学にくる」肯定回答率 72% (○) 「主体的・対話的で深い学び」に取り組む教職員の割合 92% (○) - 学校教育自己診断(生徒)「学校は生徒に配付しているタブレット端末を効果的に活用している」肯定回答率 94% (○)
2 社会力の拓く力	(1) キャリア教育の推進 - 自己の進路決定に対する早期の動機づけ - 希望する進路の実現 - 外部機関・人材との連携	(1) キャリア教育の推進 - 早期の動機づけのため、保護者に進路スケジュール等の情報共有 - 進路実現に向けた様々な支援強化 - 外部人材と連携した分野別進路説明会によるキャリア教育の実施	(1) キャリア教育の推進 - 学校教育自己診断(保護者)「適切な進路指導」肯定回答率 80%以上[77%] 3 年生4 月時点での進路希望の実現率 90%以上[90%] - 卒業生等による分野別進路説明会アンケート肯定回答率 90%以上 [90%]	(1) キャリア教育の推進 - 学校教育自己診断(保護者)「適切な進路指導」肯定回答率 83% (○) - 進路相談や講習を行う等きめ細かな進路指導を遂行し、3 年生4 月時点での進路希望の実現率 90% (○) - 卒業生による分野別説明会は、アンケート肯定回答率 77%。今年度の反省を踏まえて、企画内容を精査。(△)
3 自律する力	(1) 自律を促す教育活動 - 基本的生活習慣の確立 - 規範意識の向上 (2) 安全安心な学校づくり - 情報モラルの育成 - いじめの防止 - 教育相談・支援教育の充実 - 交通安全指導の徹底	(1) 自律を促す教育活動 - 遅刻指導の徹底 - 生活指導方針を生徒及び保護者に周知 (2) 安全安心な学校づくり - 情報を発信する際に必要な資質・能力の育成 - いじめの早期発見や対処に関する教職員の理解の深化 - 様々な課題を抱える生徒に向けた SC 等を活用した支援体制の構築 - 入学時等の交通安全指導及び保護者・地域・警察等と連携した定期的な通学安全指導の継続	(1) 自律を促す教育活動 - 遅刻者数3 %減 [30%減] 「生指だより」を年5 回配信。学校教育自己診断(保護者)「生徒指導の方針に共感」肯定回答率 80%以上[77%] (2) 安全安心な学校づくり 「ネットトラブルの対応に関する講演会」の肯定回答率 95%以上 [95%] - 学校教育自己診断(生徒)「命の大切さ、社会のルール」に係るアンケートの肯定回答率 90%以上 [82%] - 学校教育自己診断(生徒)「いじめ・悩みの相談」の肯定回答率 75%以上[69%] - 登下校時の事故数 10 件以下 [17 件] - 保護者・地域・警察等と連携した通学安全指導を年5 回実施[5 回]	(1) 自律を促す教育活動 - 遅刻者数60%増。(△) 「生指だより」を年5 回配信。学校教育自己診断(保護者)「生徒指導の方針に共感」肯定回答率84%(○) (2) 安全安心な学校づくり 「ネットトラブルの対応に関する講演会」の肯定回答率95% (○) - 学校教育自己診断(生徒)「命の大切さ、社会のルール」に係るアンケートの肯定回答率93% (◎) - 学校教育自己診断(生徒)「いじめ・悩みの相談」項目の肯定回答率91% (◎) - 登下校時の事故数12件 (△) - 通学安全指導は、4 回実施。(2 月に1 回実施予定) (○)
4 つながる力	(1) HR 活動・生徒会活動・部活動の活性化 - HR 活動の活性化 - 生徒会活動の活性化 - 部活動の充実	(1) HR 活動・生徒会活動・部活動の活性化 - 計画的な LHR の実施 - 生徒会行事の見直し及び新しい取組みの立案 - 部活動の指導・運営体制の構築	(1) HR 活動・生徒会・部活動の活性化 3 学年の LHR 計画を学年主任会議で企画・調整し、学校教育自己診断(教職員)「学校行事が魅力ある」の肯定回答率 90%以上 [89%]。 - 学校教育自己診断(生徒)の生徒会行事における満足度 90%以上 [85%] - 部活動加入率 70%以上 [61%]	(1) HR 活動・生徒会・部活動の活性化 - 学校教育自己診断(教職員)「学校行事が魅力ある」の肯定回答率88% (△) - 学校教育自己診断(生徒)の生徒会行事における満足度87% (△) - 部活動加入率は、64.7% (△)

府立茨木西高等学校

	・グローバル社会に対応できる人材の育成 (2) 中学校、地域との連携の充実 ・中高連携の強化 ・地域連携の強化 (3) 家庭との連携の強化 ・保護者との連携の強化	・オーストラリア姉妹校を訪問及びオンライン交流の実施 (2) 小中及び地域との連携強化 ・地元3中学校との連絡会や連携事業の実施 ・地域行事等への参加 (3) 保護者との連携強化 ・メール配信等を通じた保護者へのきめ細やかな情報提供	・オーストラリア姉妹校を夏季休業中に訪問〔新規（再開）〕、海外教育機関とのオンライン交流の実施5回以上〔5回〕 (2) 小中及び地域との連携強化 ・地元3中連絡会3回、出前授業等5校実施〔連絡会3回、出前授業等5校〕 ・地域行事等へのボランティア参加生徒数100名以上〔97名〕 (3) 保護者との連携強化 ・学校教育自己診断（保護者）「家庭連絡や意思疎通をきめ細かく」肯定回答率95%以上〔91%〕	・オーストラリアの中高一貫校と姉妹校提携を結んだ。（◎） - 夏休みを利用して、姉妹校へ19名の生徒が訪問。姉妹校を含め、オンライン交流を2回実施。（△） (2) 小中及び地域との連携強化 ・地元3中学校連絡会3回、出前授業4校実施（△） ・地域行事等へのボランティア参加生徒数84名（△） (3) 保護者との連携強化 ・学校教育自己診断（保護者）「家庭連絡や意思疎通をきめ細かく」肯定回答率93%（△）
5 生徒に向き合う力	(1) チームで生徒と向き合う ・生徒指導の充実 ・支援教育体制の構築 ・人権を尊重する教育の推進 ・管理職・ミドルリーダーの育成 ・教職員の働き方改革	(1) チームで生徒と向き合う ・生徒との信頼関係に基づく、教職員の一致協力した生徒指導 ・SC や関係機関と連携した支援体制の構築 ・人権道德推進委員会による講演会や教職員研修の充実 ・初任期からミドルリーダー・次代の管理職までの系統的な育成 ・部活動方針を遵守し、部活動指導時間等の見直しを行い、教職員の時間外在校等時間の縮減を図る。	(1) チームで生徒と向き合う ・学校教育自己診断（教職員）「カウンセリングマインドを取り入れた指導」肯定回答率90%以上〔85%〕 ・学校教育自己診断（生徒）「いじめ・悩みの相談」の肯定回答率75%以上〔69%〕 ・学校教育自己診断（保護者）「豊かな心や人権感覚を持ち、自分の生き方を考える生徒を育てようとしている」肯定回答率80%以上〔新規〕 ・管理職及び分掌長・委員長にミドルリーダーを3名登用〔4名〕 ・時間外等在校時間について、月80時間を年3回以上超える教職員4名以下〔7名〕	(1) チームで生徒と向き合う ・学校教育自己診断（教職員）「カウンセリングマインドを取り入れた指導」肯定回答率88%（△） ・学校教育自己診断（生徒）「いじめ・悩みの相談」の肯定回答率91%（◎） ・学校教育自己診断（保護者）「豊かな心や人権感覚を持ち、自分の生き方を考える生徒を育てようとしている」肯定回答率85%（○） ・ミドルリーダーを3名登用（○） ・月80時間を超過している教職員は、5名（△）